

＜テーマ＞主体的な学習活動を促す学習課題を設定し、学習過程に学び合いを取り入れた取組
(栗原市立若柳中学校)

○学習の流れ 2年 平行と合同(導入)
目標 [多角形の角の和の求め方をいろいろな方法で考えてみよう。]

とらえる

- ・本時で使う既習事項の確認
三角形の角の和は 180°
四角形の角の和は 360°
- ・目標の確認

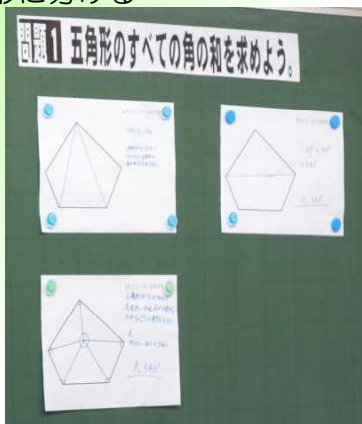
考える

- ・【問題①】を考える

五角形の角の和の求め方を考えよう

＜多様な考えに気付く＞

- (1) 三角形に分ける
- (2) 三角形と四角形に分ける
- (3) 図形内部に点を取る
- (4) 辺上に点を取る
- (5) その他



- ・考え方を活用し、六角形、七角形の角の和を求める

深める・広げる

- ・【問題②】を考える
個→班(4人)→全体

まとめる

- ・学び合いで学習したことを確認する
- ・次時へつなげる

＜ポイント1＞

基本的な考えを応用し、少し手応えのある問題を設定する。友達の考え方が気付きにつながり、話し合いの中で解決できる。

【問題②】

三十二角形のすべての角の和を求めよう

こうすればいいかも

そっちの考えだとできるかも…

A君
図が描けない

Bさん
いくつ三角形ができるだろう

Dさん
三角形は 180° 、
四角形は 360° 、
五角形は…

Cさん
五角形は三角形が3つできたよ

規則性がありそうだ

もう少しで解けるかも知れない

＜ポイント2＞

個を重視し、考える時間を確保する
(分からなくてもできるところまで)
班で考えを伝え合う
(話し合いの中で考えを深める)
よりよい考えを全体に発表する

※導入のため内角という用語は使っていません。